

4年ぶりに乳牛の資質を競う



鋭い目で審査するハリー・シュイリング審査員と参加者の皆さん

岩手県北ホルスタインクラブ（上野勝俊会長）が主催する第49回岩手県北ブラックアンドホワイトシヨウは4月22日、くずまき高原牧場チャレンジハウスで4年ぶりに開催されました。シヨウには県北地域の市町村などからホルスタイン71頭が出品。鈴木重男町長は「知恵を結集して今日の畜産業界の困難を乗り越えましょう。この大会が新しい1歩になるよう願います」と祝辞を述べました。審査員は各国の共進会で審査



主催のあいさつをする上野会長と参加者を激励する鈴木町長

を務めるハリー・シュイリングさん（オランダ）で、会場に並ぶ磨き上げられた牛たちを厳正に審査。本町の出品牛は、名誉賞は逃したものの各都府入賞を果たしました。ハリー・シュイリング審査員は「優れた資質の牛が多く感銘を受けた。この場に若い人が多いことも嬉しく思う」と講評を述べていました。

- 本町入賞者（敬称略）
- 【未經産牛の部】
- ▼村澤由明（第2部2席）
- ▼中村大地（第4部1席）
- 【経産牛の部】
- ▼(株)Peace Valley Dairy（第7部1席、第10部2席、第11部2席）
- ▼中六角保広（第7部2席）
- ▼漆真下恵（第8部1席）
- ▼葛巻町畜産開発公社（第8部2席、第11部1席）
- 【牧場牛群の部】
- ▼(株)Peace Valley Dairy（1席）
- ▼(株)GRFホルスタインズ（2席）

藤森晴子さんが百歳に

4月10日、藤森晴子さん（茶屋場）が100歳の誕生日を迎え、鈴木重男町長が入所施設を訪問して祝い状と祝い金、花束を贈りました。

大正12年生まれの晴子さんは茨城県出身。若い頃は電話交換手として働いたそうです。夫の廣治さんは元海軍兵で、その技術を生かし「藤森鉄工所」を開業。晴子さんも5人の子どもを育てながら共に鉄工所を切り盛りしました。長男の功一さんは「読み書きや計算が得意な母で、俳句やカラオケが趣味でした。家族で行った沖縄旅行が良い思い出です」と振り返っていました。孫7人、ひ孫12人に恵まれた晴子さん。たくさん家族と施設職員に見守られ、穏やかに暮らしています。



鈴木町長から花束を受け取った晴子さん

町とみちのくコカ・コーラボトリング(株)

災害時の飲料確保へ協定

町とみちのくコカ・コーラボトリング(株)は3月30日、災害時における飲料の確保に関する協定を締結しました。現在町は、大規模な災害に備えて一定量の飲料を備蓄していますが、備蓄数量に限界があることや保管場所の確保、また消費期限による廃棄などの課題がありました。

今回の協定は、災害発生時に同社が町の要請を受け、避難所などの指定された場所に飲料を優先的に納品する内容となっています。町の備蓄を大きく上回る飲料の供給が可能になるとともに保管や廃棄の問題が解消されるほか、お茶やスポーツドリンクなどさまざまな種類の飲料が供給できるなど、多くのメリットが期待されます。



協定書を手にした館部長と觸澤副町長および締結式に出席した関係者の皆さん

締結式で觸澤義美副町長は「大災害の発生時には町の力だけでは十分ではなく、協定により迅速な飲料確保が可能になることは町民にとって大変心強く感謝します」とあいさつしました。また、同社執行役員 館隆一郎営業本部長は「当社はこれまで、協定を締結した自治体に5万本を超える飲料の供給実績があります。この協定が今後、葛巻町の万が一の備えになれば幸いです」と話していました。

消防団員募集

地域や家族、そして仲間の安全安心を守るため、団結して自ら地域防災にあたる消防団。災害時の消火活動、救助・救出活動や平時の訓練などの防火・防災活動に従事しています。

団員は随時募集していますので興味のある方はお問い合わせください。

盛岡中央消防署葛巻分署 ☎66-2709



水防工法訓練で救命ボートの取り扱いを学ぶ団員

葛巻町消防団 向川原徳志さんが団長に就任

町消防団の団長に向川原徳志さん（70歳・新町）が就任しました。（任期：令和9年3月31日まで）

向川原さんは昭和54年に消防団に入団。第2分団長、本部分団長、副団長などを歴任されていま

す。向川原さんは「行政、議会、葛巻分署と協力し、防火、防災に努めます。団員とともに訓練を重ね、町民の皆さんの安全、安心のために責任を果たしていきたい」と意気込みを話していました。

なお、4月1日現在の消防団本部の構成は次のとおりです。（敬称略）

- ▷ 団長 向川原徳志
- ▷ 副団長 上家照男、眞下 勇、荒谷健一
- ▷ 本部長 横山 弘
- ▷ 副本部長 木ノ下博、岩脇 勇、釜口久寿
- ▷ 分団長 前原政志、冬澤茂光



向川原徳志さん